

高等学校長様

石川県高等学校文化連盟英語部
部長 源 義 則
(公 印 省 略)

第20回 英語ディベート大会開催について (依頼)

標記のことについて、下記のとおり開催いたします。つきましては、貴校英語部生徒・顧問及び担当外国語指導助手の参加につきまして、格別のご配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和7年9月7日（日） 9：00～16：00
(時間は参加チーム数により変わる可能性があります。)
- 2 会 場 石川県文教会館 金沢市尾山町10番5号 TEL 076-262-7311
- 3 参加資格 石川県の高校生 英語のネイティブスピーカーは不可
以下の条件のものは1チーム2名までとする。
(1)英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒
(2)英語を第2言語とする国の出身である生徒
(3)家庭で常用的に英語を使っている生徒 ※(1)(2)については就学前の滞在は不問
- 4 チーム構成 **1チーム3名～8名。各校2チームまで**
※1チームの構成メンバー数の制限は8人とし、試合への出場は3人～4人で
試合ごとにメンバーの入れ替えが可能です。
- 5 論 題 That the Japanese government should ban children under 16 years old from
using social media.
日本政府は16歳未満の子どもがソーシャルメディアを利用することを禁止すべき
である。是か非か。
(第20回全国高校生英語ディベート大会と同じ・表現は変わる可能性があります)
- 6 賞 第1位～第4位
優勝校は12月20日（土）21日（日）に埼玉県で開催される
第20回全国高校生英語ディベート大会に県代表として出場する資格が与えられます。
- 7 審査員 予選の審査は参加校の顧問、外国語指導助手を中心に行います。
できるだけ多くの先生方のご協力をお願い申し上げます。
- 8 申し込み・問い合わせ
高文連英語部 ディベート大会担当 金沢泉丘高校 池田 詩織
〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10番10号
TEL 076-241-6117 FAX 076-245-5253
メール：higa_shi@ishikawa-c.ed.jp

石高文連（英）第18号
令和7年6月11日

英語部・同好会顧問 様

石川県高等学校文化連盟英語部
部長 源 義 則
(公 印 省 略)

第20回 英語ディベート大会開催について (依頼)

標記のことについて、下記のとおり開催いたします。参加を希望する場合は高文連英語部ディベート大会担当（金沢泉丘高校 池田 詩織）までメール(higa_shi@ishikawa-c.ed.jp)で申し込んでください。（人数は例にならって正確に報告してください。）締め切りを**7月28日（月）**といたします。希望校には後日メンバーリストをお送りいたしますので改めてご提出をお願いします。

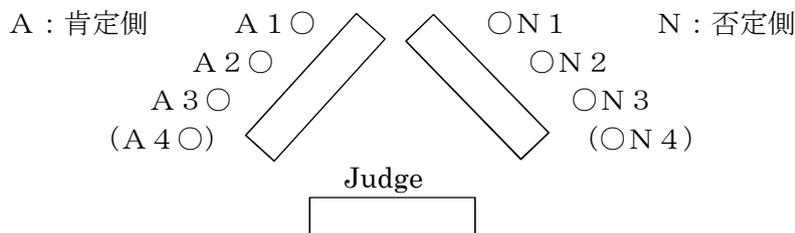
記

- 1 日 時 令和7年9月7日（日） 9:00～16:00
(時間は参加チーム数により変わる可能性があります。)
- 2 会 場 石川県文教会館 金沢市尾山町10番5号 TEL 076-262-7311
- 3 参加資格 石川県の高校生 英語のネイティブスピーカーは不可
以下の条件のものは1チーム2名までとする。
(1)英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒
(2)英語を第2言語とする国の出身である生徒
(3)家庭で常用的に英語を使っている生徒 ※(1)(2)については就学前の滞在は不問
- 4 チーム構成 **1チーム3名～8名。各校2チームまで**
※1チームの構成メンバー数の制限は8人とします。試合への出場は3人～4人で
試合ごとにメンバーの入れ替えが可能です。
- 5 論 題 **That the Japanese government should ban children under 16 years old from using social media.**
日本政府は16歳未満の子どもがソーシャルメディアを利用することを禁止すべきである。是か非か。
(第20回全国高校生英語ディベート大会と同じ・表現は変わる可能性があります)
- 6 試合形式 参考資料参照
その他詳細については申し込みのあった学校に案内します。
- 7 賞 第1位～第4位
優勝校は12月20日（土）21日（日）に埼玉県で開催される
第20回全国高校生英語ディベート大会に県代表として出場する資格が与えられます。
- 8 審査員 予選の審査は参加校の顧問、外国語指導助手を中心に行います。
できるだけ多くの先生方のご協力をお願い申し上げます。
- 9 申し込み eメールで次のように参加チーム数、参加人数を報告し、申し込んでください。
※締め切り7月28日（月）
【例】高文連高校 2チーム Aチーム（4名） Bチーム（8名） 合計12名
送り先メールアドレス：higa_shi@ishikawa-c.ed.jp
※A、Bの区別については、学年の高い生徒を正規メンバーに多く含むチームをAとしてください。
- 10 問い合わせ 高文連英語部 ディベート大会担当 金沢泉丘高校 池田 詩織
〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10番10号
TEL 076-241-6117 FAX 076-245-5253
メール：higa_shi@ishikawa-c.ed.jp

※会場には無料の駐車場はありません。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

参考資料

試合形式 Game Format



発 言 者		役 割 と 内 容	時 間
3 人 の 場 合	4 人 の 場 合		
A1	A1	① 肯定側立論 (advantageは2点まで出せる)	4分
		準備時間	1分
N2→A1	N4→A1	② 否定側質疑 (否定側からの質問に肯定側A1が答える)	2分
N1	N1	③ 否定側立論 (disadvantageは2点まで出せる)	4分
		準備時間	1分
A2→N1	A4→N1	④ 肯定側質疑 (肯定側からの質問に否定側N1が答える)	2分
		準備時間	2分
N2	N2	⑤ 否定側アタック (肯定側の立論のみに対して)	3分
A3→N2	A3→N2	⑥ そのアタックへの質問 (肯定側A3からの質問に否定側N2が答える)	2分
A2	A2	⑦ 肯定側アタック (否定側の立論のみに対して)	3分
N3→A2	N3→A2	⑧ そのアタックへの質問 (否定側N3からの質問に肯定側A2が答える)	2分
		準備時間	2分
A3	A3	⑨ 肯定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
N3	N3	⑩ 否定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
		準備時間	2分
A1	A4	⑪ 肯定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分
N1	N4	⑪ 否定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分

計42分

*スピーチ時間は、スピーチ担当者が起立し、名前を告げた直後から計測を開始します